



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

学校教育で求められる資質・能力とは…

想定外の事態が続く「予測困難な時代」を生き抜くために、学校教育ではどのような力をつけていく必要があるのでしょうか？

文部科学省が定める学習指導要領（学校のカリキュラムを編成する基準）では、「何ができるようになるか」について右の3つの資質・能力を示しています。

本号では「知識・技能」について説明します。昔はたくさんの知識や技能を知っている人を「頭がいい」と言っていたように思われます。

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

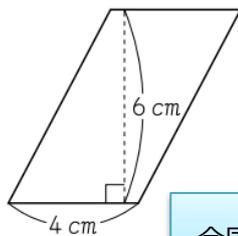
生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

しかし、平成19年度の全国学力・学習状況調査で次のような課題が判明しました。

A 次の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。

(1) 平行四辺形



全国正答率 96.0%

ほとんどの子供が「平行四辺形の面積を求める公式（＝底辺×高さ）」を知っているし使えます。なぜこれほど正答率が異なるのでしょうか。

算数の中だけの知識・技能になってはいませんか。「平行四辺形の面積を求める公式」が教科の枠を超えて生きて働く知識・技能になっていないということなのです。

また、子供たちは「習っていないからできなかった」ということをよく言います。では、習っていればできたのでしょうか。

習ったことを活用できるようにする。さらには、たとえ授業で習っていなくとも、今もっている武器（既存の知識・技能）で問題に立ち向かおうとする。こういった姿勢がこれからの予測困難な時代をたくましく生きる武器になることがお分かりいただけると思います。

次号では、「思考力・判断力・表現力等」について触れる予定です。

B

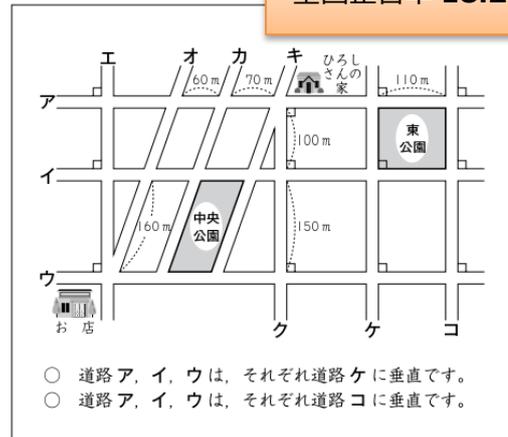
ひろしさんの家の近くに東公園があります。

東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。

答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きま

しょう。

全国正答率 18.2%



- 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路ケに垂直です。
- 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路コに垂直です。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330